

# 「島根大学医学部紀要」投稿・査読要領

医学部欧文雑誌・紀要発行委員会

2011.6.1 改訂

2016.6.7 改訂

2020.6.17 改訂

2024.7.25 改定

2024.8.23 改定

## 1. 投稿資格

投稿者は、島根大学医学部教員とする。それ以外の者が投稿を希望する場合は、著者の中に必ず島根大学医学部の常勤の教員が入らなければならない。

## 2. 原稿の内容

原稿は、他の雑誌に掲載済みではないもの、あるいは投稿予定のないものであり、日本語での投稿に限る。投稿された原稿で査読中のもの、あるいは掲載が決定したものを他の雑誌等へ投稿することは禁止する。和文、英文を問わない。また、他への投稿を禁ずる。すでに学会などで発表したものであれば内容が含まれている場合は、その旨を本文中に記載すること。なお英文（英文要旨など）については専門家の校閲を受けたものが望ましい。図表やイラスト、写真などの掲載に際して著作権・肖像権等に関する処理が必要な場合は、投稿者自身が処理を行うこと。

## 3. 原稿の種類

- 1) 総説：特定のテーマに関し文献考察を行い研究を総括・解説したもの
- 2) 原著論文：独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されている研究論文で、形式が整っているもの
- 3) 研究報告：研究結果の意義が大きい論文
- 4) 実践報告：臨床及び教育に関する手技・技術や実践方法に関するもの
- 5) その他：症例・事例報告、資料、翻訳など上記に該当しないもので委員会が適当と認めたもの

## 4. 倫理的配慮

投稿論文の研究が、人間を対象とする場合は「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿って、動物実験の場合は所属機関の基準等を遵守して行われたものでなければならない。また、個人を対象とした研究・調査などについては「倫理綱領などのガイドライン」に基づき、研究・調査対象者の人権やプライバシーに十分配慮したものでなければならない。原著論文及び症例報告にあつては、倫理委員会の承認を得たものであることとし、その旨を論文中に明記する。また、ヒトを対象とした研究報告は、論文中に配慮した内容を詳細に記載する。

## 5. 査読

~~査読者の意見をもとに、定められた期日までに内容を修正し再投稿する。~~

すべての論文等が査読の対象となる。

投稿を受け付けた論文等については、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会により選任された編集長（編集担当代表）が以下の査読過程を担当する。

- (1) 編集長は論文の概要と内容を検討し、投稿規定にあわないもの、内容が本誌の目的と異なるものについては一旦返却または不採用にする。このときにコメントの提示および投稿区分の変更を提案することもある。
- (2) 編集長は2名程度の査読者を指名し査読を依頼する。査読者は島根大学医学部教授、准教授、講師の他、編集長から要請があり且つ医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会が協議のうえ特に必要と認

めた場合には、必要とした場合は学外の査読者を指名することができる。

- (3) 投稿されたすべての種別の論文に対して、シングルブラインド方式により査読を行う。
- (4) 編集長は査読者の判定を参考にして、内容の再検討および修正を著者に依頼する。すべての査読者が不採用と判定した場合は査読を中止し、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会に報告する。査読者間で判定が大きく異なる場合は、査読者を変更してさらに査読を依頼することがある。これらの結果を踏まえたうえで、編集長は論文等の採否を決定する。なお、編集長が判断できない場合には、必要に応じて医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会で協議することができる。
- (5) 編集長は採用された論文について暫定的に「受理（Accept）」した旨のレターを発行することができる。
- (6) 編集長は上記査読過程を医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会に報告する。

上記査読過程をへて受理された論文等の医学部欧文雑誌・紀要への掲載は、医学部欧文雑誌・紀要（発行）委員会で審議し、最終決定する。

採用された論文等の雑誌への掲載について疑義が生じた場合は、編集長に差し戻し、改善を求める場合もある。

## 6. 原稿の採否

- ~~1) 投稿論文の採否は、医学部欧文雑誌・紀要発行委員会が行う。~~
- ~~2) 採択原稿については、最終原稿の Word ファイルをメール添付で提出すること。~~

## 67. 投稿手続き

- 1) 「論文投稿用紙」を医学部ホームページよりダウンロードし、所定の事項を記入し添付する。
- 2) 投稿原稿は Word ファイルを、下記「13.原稿提出先」にメール添付で提出する。

## 78. 執筆要領

- 1) 原稿は、ワードプロセッサを使用し、A4 縦置き、横書きとする。

~~和文は1ページにつき 36 字×30 行で作成する。和文の書体は MS 明朝体 10.5 ポイントとし、  
する。句点は（。）読点は（、）とする。英文の書体は Times New Roman 12 ポイントとする。~~

~~英文は1ページにつき 25 行で、270words 程度、ダブルスペースで作成する。書体は Times New Roman 12 ポイントとする。~~

- 2) 欧文文字、算用数字は 2 字 1 コマとする。

- 3) 原稿本文の字数制限（図、表、文献を含む）は下記のとおり。

図、表は A4 版大で 2,000 字 ~~（英語 600 words）~~、A4 版の 1/2 大で 1000 字 ~~（英語 300 words）~~、  
1/4 大で 500 字 ~~（英語 150 words）~~ 程度に換算する。

- (1) 総説：12,000 字以内 ~~（英語 3,000 words 以内）~~
- (2) 原著論文：16,000 字以内 ~~（英語 4,000 words 以内）~~
- (3) 研究報告：10,000 字以内 ~~（英語 3,000 words 以内）~~
- (4) 実践報告：10,000 字以内 ~~（英語 3,000 words 以内）~~
- (5) その他：8,000 字以内 ~~（英語 2,000 words 以内）~~

- 4) 和文要旨（400 字以内）を付ける。また、原著論文には併せて英文要旨（200 words 以内）を付ける。

- 5) 原稿には表題紙をつけ以下の事項を記す。~~（和文の論文には、英語これらには英文を併記すること。）~~

- (1) 論文タイトル
- (2) 論文の内容を的確に表現するキーワード（5 個以内）
- (3) 著者名
- (4) 所属（異なる機関に所属する者の共著である場合、所属ごとに番号を付しその番号を著者名の右肩

に示した上で、著者名の下に一括して記す)

(5) 連絡先 (所属、メールアドレス)

6) 原著論文は、目的、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献の順に記載する。それぞれの見出しの言葉は変更して構わない。他の論文も目的、方法、結果、考察、結論に準じて記載する。

7) 本文の見出し順位は、以下のとおりとする。

I. II. III.

1. 2. 3.

1) 2) 3)

(1) (2) (3)

8) 略語を用いる場合は、初出で正式用語とともに提示し、その後略語を用いることを明記する。

9) 単位符号は原則として SI 単位を用いる。

10) 図、表、写真は 1 枚の用紙に 1 つずつ記載し、図 1、表 1 などの番号を付け、まとめて原稿の末尾に添付する。表にはタテ線は使用しない。本文中には、図、表が挿入されるべき位置を欄外に赤字で明記する。

11) 文献の記載方法は次の形式による。

(1) 本文の引用箇所に、引用順に 1)、1,2)、1-4) などと肩番号を付す。

(2) 文献は、原稿末尾に一括して使用した順に記す。著者が 4 名以上の場合、3 名まで記載し、それ以外は、”他” または、”et al.” と省略する。

(3) 記載例

【雑誌の場合】

① 著者. タイトル. 雑誌名 (英語雑誌はイタリック) 年;巻:頁-頁.の順に記す。

② オンライン雑誌の場合は、DOI を記す。

③ 雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及び「MEDLINE(PubMed)」に従う。

・宮本まゆみ, 津本優子, 福間美紀, 他. 離床センサーを用いた転倒リスク患者の離床行動の実態調査. 医療の質・安全学会誌 2013;8(4):317-23.

・Haze S, Sasai K, Gozu Y. Effects of fragrance inhalation on sympathetic activity in normal adults. *Jpn J Pharmacol* 2002;90:247-53.

【単行本の場合】

① 編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年 (:頁-頁) .の順に記す。

・宇都宮宏子. 退院支援実践ナビ. 東京: 医学書院; 2011: 17-29.

② 書籍の中の 1 章を引用した場合は、著者. 章タイトル. In: 編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年: 頁-頁.の順に記す。

・荒木美千子. 脳・神経疾患患者のフィジカル・アセスメント. In: 川本利恵子, 編著. フィジカル・アセスメント 2: 看護診断編. 東京: メジカルフレンド社; 1998: 2-15.

③ シリーズ中の書籍の場合は、シリーズのタイトルとその書籍の巻数を、出版年の後に記す。

・須永清, 落合敏. 栄養学. 東京: 真興交易医書出版部; 1991. 本田良行, 石川稔生, 編. 現代看護学基礎講座; 11.

【翻訳書の場合】

著者名. 書籍タイトル. (版数.) 出版年. 翻訳者名. 和書名. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年.の順に記す。

・Benner P. From novice to expert: Excellence and power in clinical nursing practice. 1984. 井部俊子, 監訳. ベナー看護論. 新訳版. 東京: 医学書院; 2005.

【Web の情報の場合】

著者または、団体名. タイトル. ウェブサイト名. (掲載日, アクセス日) .の順に記す。

・厚生労働省. 健康日本 21 糖尿病. [http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21\\_11/b7f.html](http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/b7f.html). (アクセス日 2016.5.10) .

#### **89. 著者校正**

著者校正は原則として1回とし、校正に際して大幅な加筆、修正は認めない。

#### **910. 費用**

掲載料は無料とする。別刷は著者の自己負担とする。

#### **1011. 発行**

原則として年1回とする。

#### **1112. 著作権**

- 1) 本誌に掲載された論文、抄録の著作権（電子版を含む）は、島根大学医学部に帰属する。本誌掲載論文を転載する場合は、出典を明示すること。
- 2) 本誌に掲載された論文は、島根大学附属図書館ホームページの島根大学学術情報リポジトリ（SWAN）で公開する。

#### **1213. 原稿提出先**

〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1

島根大学附属図書館医学図書館「島根大学医学部紀要」編集事務担当

E-mail : m-kanri@lib.shimane-u.ac.jp